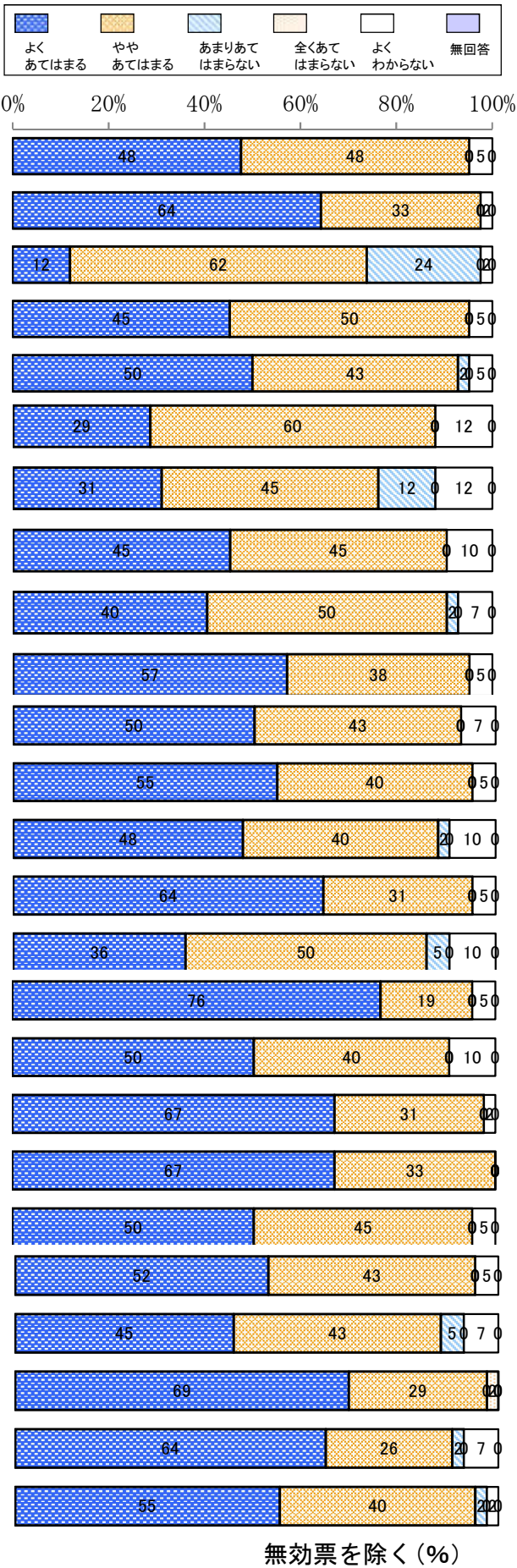


		アンケートの結果		上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員						
				A	B	C	D	よく分らない	無答	
学校全体の様子	1	教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	56 35	33 58	8 4	1 1	3 2	0 0	
	2	児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	77 48	19 48	3 1	0 1	0 2	0 0	
	3	基本的生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的生活習慣がしっかりしている。	56 30	35 59	8 6	0 1	1 5	0 0	
	4	児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	43 39	41 51	9 3	3 1	3 6	0 0	
	5	健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	68 40	24 53	4 3	2 1	2 3	0 0	
学力向上の取組	6	分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	59 35	34 52	4 3	2 1	2 8	0 0	
	7	個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	62 24	29 45	6 15	1 4	2 13	0 0	
	8	学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	64 30	24 59	10 5	2 0	0 6	0 0	
	9	情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	71 33	22 52	5 6	1 0	1 8	0 0	
	10	学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	61 38	27 44	11 8	1 2	1 8	0 0	
社会性・人間性の育成	11	人権教育	自他を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	70 30	25 49	3 4	0 2	1 16	0 0	
	12	道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	53 32	31 54	10 3	2 1	4 10	0 0	
	13	教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	55 25	24 46	10 7	5 1	5 21	0 0	
	14	人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	75 60	18 37	5 1	1 1	1 1	0 0	
	15	自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	69 51	24 43	6 1	0 1	1 5	0 0	
保護者・地域との連携	16	情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	56 53	26 45	7 0	3 0	8 1	0 0	
	17	相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	61 40	28 49	8 5	0 1	3 6	0 0	
	18	学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	62 48	22 48	11 3	2 0	2 0	0 0	
	19	地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	45 36	27 47	20 1	5 0	3 16	0 0	
	20	意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	61 26	27 44	6 4	1 1	5 25	0 0	
各学校の特色ある教育	21	地域学習	自分たちの住む地域や学校に愛着がもてるような学習を設定するなどの教育活動の充実に取り組んでいる。	56 38	28 50	12 1	2 0	2 10	0 0	
	22	交流活動	他のクラスやほかの学年と活動する学習を設定するなど、多様な交流活動の充実に取り組んでいる。	60 37	26 51	8 3	2 0	4 9	0 0	
	23	金管バンド	金管バンドの活動は、所属している部員はもちろんのこと、ほかの児童へもよい影響を与えるものになっている。	67 43	19 38	5 1	2 1	7 17	0 0	
	24	読書活動	本を読む時間や本を借りる時間を設定したり、読書週間の定着に向けた取組を行ったりして、読書活動の充実に取り組んでいる。	46 41	30 48	18 3	4 0	2 9	0 0	
	25	防災教育	災害に対する対処や犯罪被害防止に向けた指導など、防災教育の充実に取り組んでいる。	69 31	24 53	4 1	0 1	2 14	0 0	

無効票を除く(%)



学校の自己評価（考察）

2「生き生きとした楽しい学校生活」については、児童・保護者ともに前年度より肯定的な回答をした割合が向上した。一方で、3「服装や通学態度、挨拶などの基本的生活習慣」については、児童・保護者と教職員との間に意識の差が見られた。児童のアンケート結果を統計的な手法により分析したところ、楽しい学校生活と基本的生活習慣には強い相関関係があった。家庭と連携しながら、基本的生活習慣が身に付けられるよう、指導を工夫していく。

6「楽しく分かりやすい授業」は、児童・保護者ともに、肯定的な回答をした割合が、前年度より約4ポイント向上した。8「学習習慣の定着」、9「情報教育」、10「学校図書館の活用」も肯定的な回答の割合が向上していることから、学校での様々な取組が学力の向上に寄与していることが明らかになった。しかしながら、どの項目も1割程度の保護者が「よくわからない」と回答しているので、学校公開で実施したり、各種の「便り」で発信したりするなど、「見える化」を図る必要がある。

11「豊かな人権感覚を育てる教育」、12「道徳性をはぐくむ教育」の保護者の肯定的な回答群が、前年度に比べて向上した。「特別の教科 道徳」を要として、全ての教育活動において心の教育を充実させていることが結果となって表れた。「よくわからない」と回答している保護者も一定数いるので、上の項目と同じように、教育活動の可視化を図っていく。

25の質問項目の中で、前年度との比較において最も肯定的な回答の割合が向上したのが、19「地域との連携」（保護者）である。前年度に比べて13.3ポイント向上した。学校、家庭・地域とが連携して実施した「100周年記念式典」や、周年関連行事の成功が、数値の向上に寄与していると思われる。今後も「地域の学校」として、地域から愛される学校となるよう、地域と協働した行事を充実させていく。

どの項目も保護者からの肯定的な回答の割合が、前年度を上回っているが、一定数以上の保護者が「よくわからない」と回答している。いずれにおいても、児童の姿を通して成果を実感にくいものである。交流活動の実施を周知したり、金管バンドの発表の機会を増やしたり、「家読」を充実させたりするなど、保護者が実感を伴う理解ができるよう、取組を工夫していく。